

# 「市庁舎建て替え計画」の情報開示と市民参画を求める請願書

2016年9月6日

明石市議会

議長 深山昌明様

請願者 政策提言市民団体 市民自治あかし

## 請願の趣旨

明石市は市役所本庁舎を建て替える方針を2016年度末までにまとめることを表明しています。

市役所本庁舎の建て替えは現在地で同規模の庁舎を建設する場合には、**120億円～130億円**の費用を想定しており、公共施設の3割削減を迫られている明石市にとって極めて重要な案件です。しかしながら、市はこれまでに庁内プロジェクトチームで検討してきたという「市役所の将来的なあり方」についても全容を公表せず、今年度末までに方針をまとめる過程で市民参画による市民の意見を聴く機会も設定していません。

市が建て替えに関する基本方針をまとめるに際して、市民にも、議会にもその検討過程を明らかにしないまま市の方針をまとめるのは、市庁舎建て替えという重要案件について市民参画のプロセスを経ないことになり、自治基本条例に定めた「市民の参画」「情報の共有」に著しく反しています。

市議会はこれまでも、本会議の一般質問や委員会審議でこの問題を質問されていますが、市が方針をまとめるに際して所有している検討資料の開示が著しく不十分です。「市が方針をまとめるまでは、おとなしく待っておれ」という態度は、情報の共有を市政運営の原則に掲げた自治体として相容れません。

本庁舎の移転は、市議会の3分の2の賛成を必要とする重要案件です。方針案をまとめるまでに、市民や学識者、各界の意見を聴く意思形成過程での参画の手順も、未だ行われていません。そのような中で、新たな移転用地の確保案も俎上に上っているなど、市民にはこの重要な案件にどのように対応しようとしているのかが見えません。

明石市の自治基本条例に定めた「市民の参画」「市民との協働」「情報の共有」という市政運営の原則に照らしても、市民の疑問を払拭し、計画過程の情報をつまびらかにするのは市の責務です。

庁舎建て替え計画に関するすべての情報をすみやかに開示することを、市に働きかけていただきますよう、請願します。

## 請願の項目

市庁舎建て替え計画に関する検討情報を、市民に明らかにするよう働きかけてください。

以上